

平塚創生会



誰もが安全に利用できる
中央地下道の実現を

柏木 徹 議員

子どもを乗せた自転車やベビーカーが安全に通行できる中央地下道の実現を

供用開始50年が経過した中央地下道は負の土木遺産である。今後どのようにすべきと考えているのか。

問 供用開始50年が経過した中央地下道は負の土木遺産である。今後どのようにすべきと考えているのか。

答 柏木議員は、傾斜が急なため、利用者にとって不便であり、改善が必要と認識している。今後は、安全に通

問 中央地下道西側の階段については、現在の倍の長さの階段が真つすく確保できる。スムーズに自転車やベビーカーが上り下りできるの緩いスロープができるのか。

答 現在の倍の長さの階段が真つすく確保できる。スムーズに自転車やベビーカーが上り下りできるの緩いスロープができるのか。

問 現在のスロープ付き階段の勾配は50%であり、約2倍の段数が必要である。今後、施工に当たって、スロープを伸ばすことが構造的に可能かどうか、JRと協議していきたい。

答 現在のスロープ付き階段の勾配は50%であり、約2倍の段数が必要である。今後、施工に当たって、スロープを伸ばすことが構造的に可能かどうか、JRと協議していきたい。

異常に高額な平塚市民病院の電子カルテシステム

問 平成23年に約14億円を掛けて導入した電子カルテ

答 平成23年に約14億円を掛けて導入した電子カルテ

カルテを導入したときの費用が3億5千万円であった。また、更新は一度もしておらず、2年前にサーバ増設に約6千万円の追加投資を行っただけである。

問 電子カルテシステムの導入には、奥が深い問題があり、ほかの公立病院や民間病院に行つて研究をするべきである。

問 以前の定例会でも質問したが、自治会などが整備する防犯カメラ設置の基準づくりの進捗状況を伺う。



「最高だね」と言われるまち
平塚をめざして

白井 照人 議員

防犯カメラ設置基準は

問 以前の定例会でも質問したが、自治会などが整備する防犯カメラ設置の基準づくりの進捗状況を伺う。

答 自治会などに、設置に関する説明会を開催する必要があるのではないかと、2月に開催したい。

問 27年の電子カルテシステムのシェアを調べると、1位が富士通で34%、2位がソフトウェア・サービスで19%、3位がCSIで12%、4位がNECで、11%である。

問 防犯カメラ設置に対し、県の補助金制度を活用すべきではないか。

問 防犯カメラ設置に際し、機器の購入費や工事費などの2分の1、上限18万円を補助する制度がある。これを活用するには、市も設置費用の一部を補助

答 これまで、東京電力の電柱に防犯カメラの設置はできなかったが変更はないか。

問 27年の電子カルテシステムのシェアを調べると、1位が富士通で34%、2位がソフトウェア・サービスで19%、3位がCSIで12%、4位がNECで、11%である。

問 防犯カメラ設置に際し、機器の購入費や工事費などの2分の1、上限18万円を補助する制度がある。これを活用するには、市も設置費用の一部を補助

平塚創生会 所属 議員



金子 修一 議員



吉野 和美 議員

ひらつかのシティプロモーション

問 湘南平の活用を考えはないか。

答 観光プロモーションに積極活用するために、南京錠を掛けるためのモニメントの設置を検討している。

問 設置場所につけられた南京錠はどうするのか。

答 鍵を溶かして大きなハート形にして戻すことができないかなど、内部で研究を進めている。

問 平塚の塚と旧東海道平塚宿の活用について伺う。

答 この地域の史跡にスポットライトを当てるとは、市民にとって故郷の生い立ちや歴史を見直すきっかけになり、魅力の発見や、地域への愛着の醸成にもつながる。

問 これまで、東京電力の電柱に防犯カメラの設置はできなかったが変更はないか。

決算特別委員会の審査概要

平成27年度決算の認定に関する議案について、9月27日と28日に開催した決算特別委員会で審査し、2案件はいずれも認定すべきものと決定しました。主な質疑を紹介します。

●一般会計

総務費 地震・津波防災対策事業

問 リ災証明書を速やかに発行するための被災者支援システムの導入を検討したのか。

答 システムは、災害時の迅速な支援と情報管理に有効であるが、高額である。費用対効果について研究している。

民生費 特別保育拡充事業

問 一時預かりや延長保育などの特別保育を実施する施設が拡充したが、なぜ執行額は減少したのか。

答 27年度から子ども・子育て支援の新制度が始まり、一部を従来とは別の事業として予算措置した

ことなどにより減少した。

衛生費 ごみ処理広域化推進事業

問 27年10月から稼働した剪定枝資源化施設の処理実績を伺う。

答 剪定枝は全体で952.19トン搬入し、約96%を燃料用チップ、残りを堆肥化原料に資源化した。

労働費 就労支援事業

問 就労支援セミナーの参加者数と成果を伺う。

答 合計で267人の参加者がいた。アンケートでは、大部分の方から参加してよかったと回答があり、一定の成果があった。

農林水産業費 農作物鳥獣被害対策事業

問 27年度から3年間をめどに策

定した鳥獣被害防止計画に基づき何に取り組んだのか。

答 JA湘南や猟友会などと連携して、捕獲強化のため鳥獣被害対策実施隊を設置した。また、農家の自主防除の対策も働き掛けた。

土木費 まちづくり支援事業

問 協働によるまちづくりのための事業について、予算の執行額が少ないのはなぜか。

答 住民主体の計画づくりのための勉強会などへ専門家を派遣する費用であるが、内容に応じ職員が対応したためである。

教育費 学校教育の調査・研究、研修事業

問 27年度に終了した道徳教育研究部会の成果をどのように各学校へ示したのか。

答 研究成果を冊子にまとめ各学校へ配布し、夏季休業中に実施した教職員による研究教室の中でも成果発表を行った。

●競輪事業特別会計

問 全国的に入場者が伸び悩んでいる中、平塚競輪は売り上げと入場者数がなぜ増加したのか。

答 27年度は開催日が増えたため入場者数と売り上げが増加した。しかし、1日当たりの入場者数は前年度比10%減少した。

●下水道事業特別会計

問 施設の計画的な維持管理などへの対応を策定した下水道中期ビジョンにおいて、市債の返済は計画どおり進んでいるのか。

答 市債は24年から4年間で約123億円が減少した。28年度までの前期計画の目標を達成できると想定している。

●病院事業会計

問 経営改善に向けた事業の見直しによる取り組みを伺う。

答 経営会議や職員面談などを実施し、人件費の見直しなど収支改善に向けた指導を行った。